

Elazzio

SEAT COVER



DAIHATSU **TANTO** **TANTO CUSTOM** **TANTO FUN CROSS**

専用シートカバー取付説明書

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

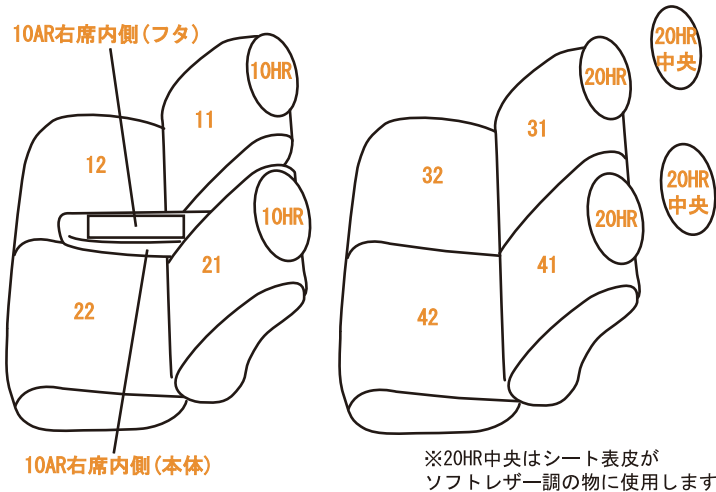
※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 3P~4P
1 列目運転席座面の装着方法	…> 5P~10P
1 列目運転席背もたれの装着方法	…> 11P~15P
1 列目助手席座面の装着方法	…> 16P~20P
1 列目助手席背もたれの装着方法	…> 21P~26P
2 列目座面装着方法	…> 27P~30P
2 列目背もたれの装着方法	…> 31P~32P
ヘッドレストの装着方法	…> 33P~34P
アームレストの装着方法	…> 35P~37P
完成図	…> 38P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 39P~40P

アフターサービスと生地別メンテナンス方法

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① ソケットレンチ(ソケット : 10mm・14mm)
- ② エクステンションバー (10cm以上)
- ③ プラスドライバー
- ④ クラッツィオ 専用ヘラ(付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

…> 1 列目運転席座面の装着方法

※シートカバーの装着にはシート裏側での作業があります。シート裏側には鋭利な金属もありますので怪我をされないように作業を行って下さい。



- 1 シートカバーを装着する前に、シートリフターでシートを一番高い位置へ調整しておきます。



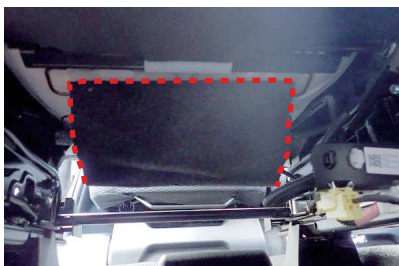
- 4 生地はプラスチックのフックでシート裏の金属フレームに引っ掛けて固定されています。フックを外して生地を固定を外します。



- 2 シート背面下の図の点線で囲んでいる生地固定を外します。



- 5 3番の生地を外すと内側にもう一枚生地が固定されています。こちらはゴムを金属フレームに引っ掛けて固定されています。ゴムの固定を解きます。ゴムは2本付いています。



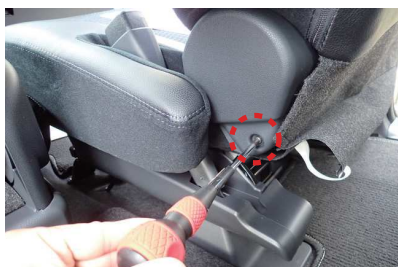
- 3 シートの前側からシート裏を写した図です。2番の生地のシート裏に回っている部分で点線で囲んでいる生地固定を外します。



- 6 4番・5番でフックとゴムの固定を外すと2番の生地の固定が外れます。生地には配線が通っているため完全にシート背面側から引き出せるわけではありません。図のように隙間ができる程度に引き出せる状態になります。



- 7 シートリフターのレバーを外します。まずレバーの軸部分にあるキャップをへらなどを使用して外します。



- 10 シートの内側です。図のプラスチックパーツ下側のネジを、ドライバーを使用して外します。



- 8 キャップを外すと内側にネジが1本あります。ネジをドライバーを使用して外すと、シートリフターのレバーが外れます。



- 11 10番のプラスチックパーツをシートから外します。図のシート表面側から見た位置にプラスチックパーツのツメがあります。ツメの位置を意識して上へめくり上げるようにして外します。作業は慎重に行ってください。

※図の『突起』の説明は21番で出てきます。



- 9 リクライニングレバーの下側にある図のネジを、ドライバーを使用して外します。



- 12 シートの背面側から両側面にある純正シート地のファスナーを開けます。ファスナーの先端はシート地の内側に入っているため図のように取り出して、ファスナーを上まで開けます。



- 13 カバーを装着する前に確認して下さい。カバーのシートベルトバックルが収まる位置辺りの生地には、図のように穴が開いています。穴は何かを通すために開いている訳ではありません。バックルなどを通そうとしないように、注意して下さい。



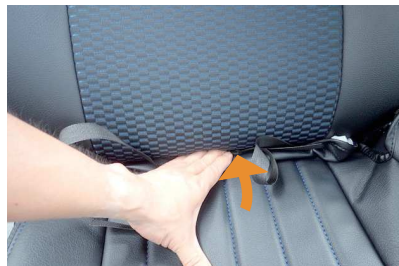
- 14 シートの内側からカバーをかぶせます。シートの内側の図の部分はカバーが袋状になっています。シートに引っ掛けるようにしてカバーをかぶせます。



- 15 14番の位置を軸として、シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



- 16 6ページ9番でネジを外したプラスチックパーツの内側に、図のように生地を通します。通した生地には加工穴を開けているので、ネジ穴の位置と生地穴位置が合うようにして下さい。カバーの加工穴の位置と、シートリフターのダイヤルの位置を合わせます。



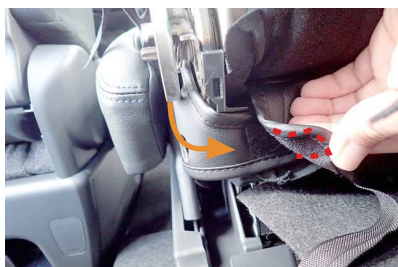
- 17 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。



- 18 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。生地を引き出すシートの背面側には配線が通っています。配線に注意して作業を行って下さい。



- 19 引き出した生地16番でプラスチックパーツの内側を通した生地16番の端を、マジックテープで固定します。



- 22 背面側へ引き出した生地を18番で引き出した生地18番に付いているマジックテープと固定します。



- 20 シート内側の軸部分です。
11番で外したプラスチックパーツ下側の純正シート地をめくり上げて、金属部分が見える状態にします。



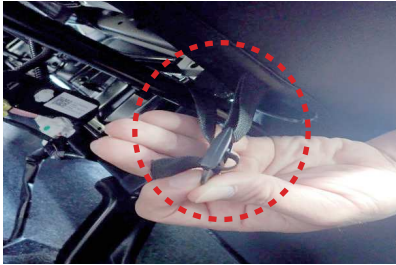
- 23 18番で引き出した生地18番の端に付いている2本のベルトを、シート裏を通して前側へ入れ込みます。



- 21 20番の位置にシートカバーをかぶせます。シートベルトのバックルの内側に生地を通して、背面側へ引き出します。この際、カバーにある2箇所の加工穴を、一つは10番のネジ穴の位置に、もう一つは11番のプラスチックパーツにある突起部分が収まる穴位置に合わせるようにして下さい。



- 24 シートの前側から入れ込んだベルトを引き出します。



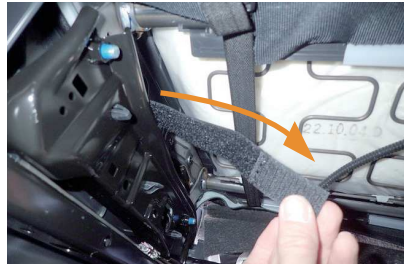
- 25 引き出したベルトをカバーの前側に付いているバックルに通して固定します。
※ベルトは必ずスライドレバーの上側を通して固定して下さい。



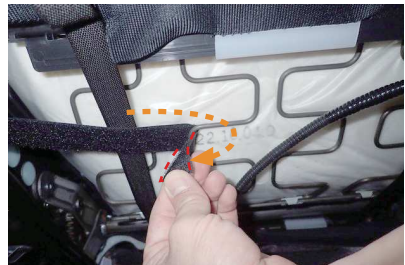
- 26 ベルトは①～③の順番でバックルに通します。まずバックルの中央にベルトを通して折り返します。次につまみ側の端に通して引くとカバーの前後が絞り込まれ固定されます。ベルトは強く引きすぎると生地が破れたり切れたりするので、注意して下さい。



- 27 シートの外側です。カバーの端に付いているマジックテープのベルトを、シートとプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。この際、生地も一緒にシートとプラスチックパーツの隙間に入れ込んで下さい。



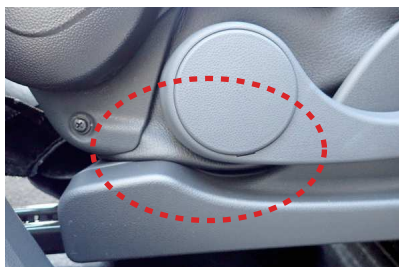
- 28 マジックテープのベルトをシート裏の隙間から引き出します。
※こちらは1番でシートを一番高い位置に調整していないと出てこないの、必ずシートを一番高い位置に調整しておくようにして下さい。



- 29 マジックテープのベルトをシート裏の金属フレームに巻き付けて折り返します。先端のオスのマジックテープをメスのマジックテープに貼り付けて固定します。



- 30 シート外側の後ろ側です。シートとプラスチックパーツの隙間に端に固定部材の付いた生地を入れ込みます。この隙間は固定部材が完全に入り込むほど奥行きがありません。固定部材が途中で引っ掛かる程度に入れ込んで下さい。



- 31 30番で入れ込んだ部分は、シートカバーを装着後シートを一番下まで下げると、図のように生地が折れ曲がります。シートカバーの生地は厚みがあるため純正シート地の様には収まりません。ご了承下さい。



- 32 11番で外したプラスチックパーツを元に戻します。図のツメ部分を先に引っ掛けます。



- 33 生地を挟み込みネジを固定します。



- 34 シートリフターを元通りに固定します。



- 35 カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。
※2番の生地は背もたれカバーを装着する途中で元に戻します。

Step 2

…> 1 列目運転席背もたれの装着方法



- 1 アームレストをシートから外します。
図はアームレスト軸部分のキャップです。
図のツメの形状を確認して下さい。



- 4 ボルトを外すとアームレストがシートから外れます。



- 2 キャップのフチにへらなどを差し込み、ツメの位置を確認します。
ツメ部分をへらなどで押してキャップを外します。ツメ以外の部分を押し無理にキャップを外そうとすると、キャップが変形する恐れがあるので、注意して下さい。



- 5 シートバックテーブルをシートから外します。
テーブルを起こして裏側を見ると4本のボルトがあります。ボルトをソケットレンチなどを使用して外します。
ソケットは10mmを使用します。



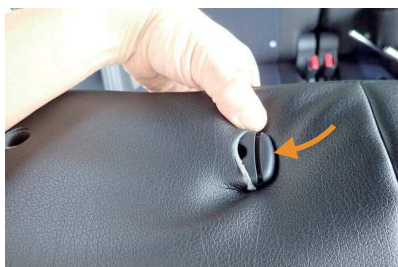
- 3 ソケットレンチなどを使用してアームレストを固定しているボルトを外します。
ソケットは14mmを使用します。



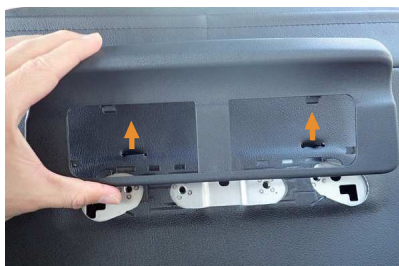
- 6 5番で外した両端のボルトの横に、図のクリップでテーブルを固定している部分があります。
こちらはへらなどを使用して上からクリップ部分を押し、テーブルを手前に引くと固定が外れます。



- 7 シートからテーブルが外れました。外したテーブルは外したままの状態、作業の邪魔にならない場所に運び出して下さい。



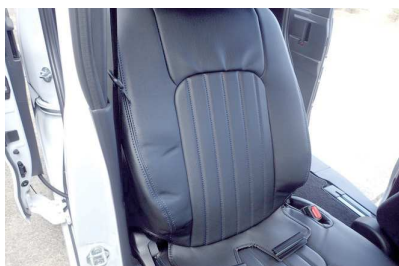
- 10 ヘッドレストの台座を取り出します。まず台座の片側のフチに、生地をしっかりと入れ込みます。



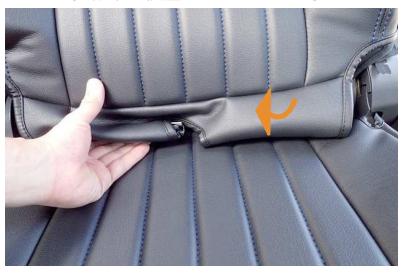
- 8 テーブルの付け根部分を囲っていた図のプラスチックパーツを、少し上へスライドさせて手前に引いて外します。



- 11 生地の利用を利用して台座を取り出します。
※革を使用したカバーでは、革は伸びないため加工穴が裂けてくる場合があります。生地が裂けてきても慎重に作業を行っていたければ台座の幅以上に裂け目は広がりにません。作業は慎重に行ってください。



- 9 カバー両側面のファスナーを開けた状態にしておきます。シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



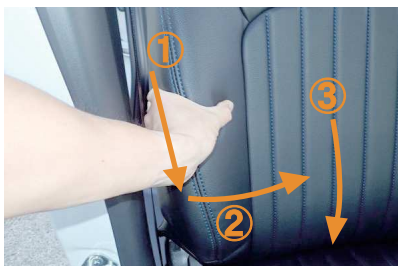
- 12 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。入れ込む生地にはフックが付いています。フックでカバーを傷付けないように、注意して下さい。



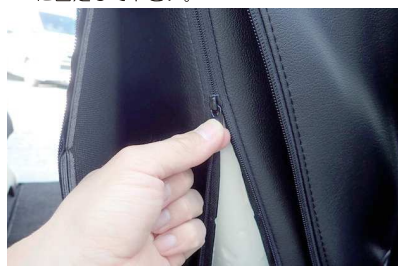
- 13 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



- 16 シートの内側です。シートの内側は図の金属部分があり、隙間が狭くなっていてカバーを固定するフックのツメが入りにくくなっています。フックを上から押さえて食い込ませるように固定して下さい。



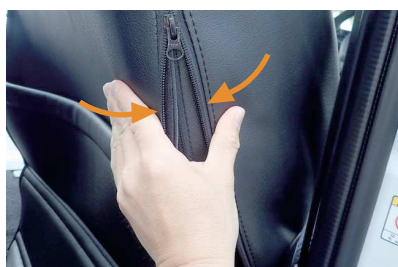
- 14 ①～③の順番に、カバー側面の生地を引下げながら中央へ寄せて、中央で余った生地を下へ撫で下ろします。シートの下に余った生地を13番と同様にシート裏から引き出して、生地をシートに密着させていきます。



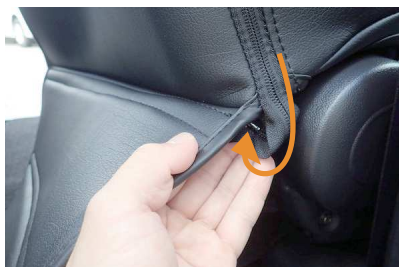
- 17 6ページ12番で開いた純正シート地のファスナーを閉じます。



- 15 13番で引き出した生地の端に付いているフックを、純正シート地を固定しているフックの上から引っ掛けて固定します。



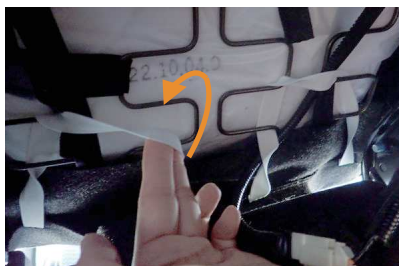
- 18 カバーのファスナーを生地を内へ寄せ合いながら、左右均等に引き下ろして慎重に閉じます。



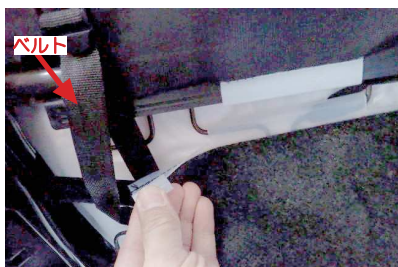
- 19 ファスナーの端はカバーの内側へ入れ込みます。



- 20 6ページ2番の生地を元通りに固定します。シート裏へ生地を入れ込みます。



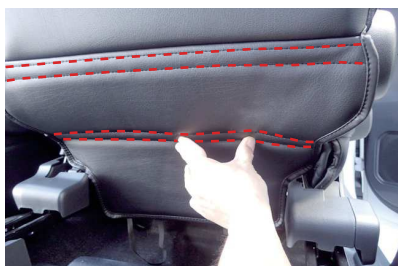
- 21 5ページ5番で外したゴムを固定します。



- 22 6ページ4番で外したプラスチックのフックを固定します。この際、座面カバーで使用したベルトが、フックを固定する位置を覆っている場合があります。ベルトをかわしながらフックを固定して下さい。



- 23 5ページ2番の生地を固定すると、シートの前側から見たシート裏は図のようになります。



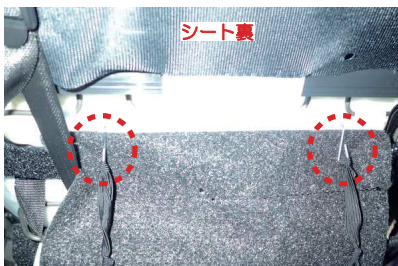
- 24 5ページ2番の生地を覆うようにカバーを固定します。図の点線位置の生地裏にマジックテープが付いています。マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 25 カバーの背面下にゴムが2本付いています。ゴムに付属の金属フックを取り付けます。



- 28 シートバックテーブルを元通りに固定します。
※ボルトは強く締めすぎるとプラスチックパーツを破損させる恐れがあります。ボルトの締めすぎには注意して下さい。



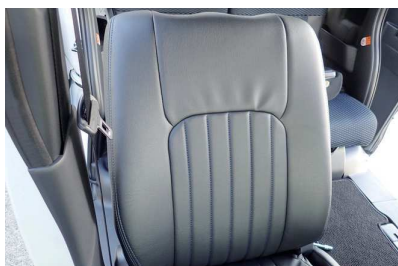
- 26 金属フックをシート裏に引っ掛けて固定します。フックの固定位置に特定の場所はありません。ゴムにある程度のテンションが掛かる位置で固定して下さい。



- 29 シートカバーを装着したシートの背面側は図のようになります。



- 27 8番で外したプラスチックパーツを生地を挟み込み元通りに固定します。



- 30 カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。

Step 3

1列目助手席座面の装着方法



- 1 シート背面のテーブルとバックボードを外します。
テーブルは運転席同様ボルトとクリップで固定されています。11ページ5番・6番を参考にしてテーブルを外して下さい。



- 2 バックボードをシートから外します。まずスライドレバーの下に付いているフックを外します。フック付近のボードの端を図のように手で掴み、手前に引くとフックが外れます。フックの固定は余り固くは無いので、慎重に作業を行って下さい。



- 3 2番で外したフック部分をそのまま浮かせた状態で、バックボードを真上にスライドさせるように持ち上げます。そうすることで上側にある2か所のツメが外れます。



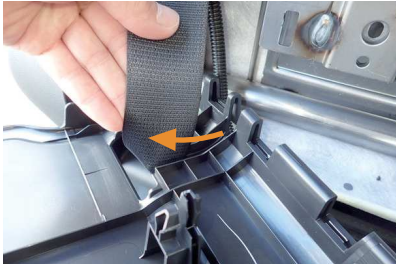
- 4 バックボード下側のシート表皮の固定を外します。
図のように表皮を固定している部材の隙間にヘラなどを差し込み隙間を広げます。もう片方の手でシート表皮を引っ張ります。



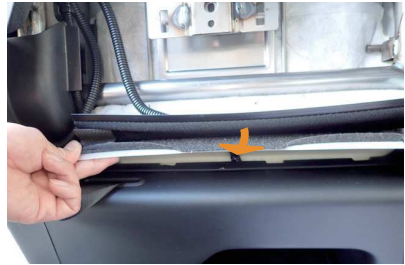
- 5 角度を変えて写した図です。シート表皮を固定している隙間部分は非常に固いため、作業は慎重に行ってください。



- 6 シート表皮の端が外れました。端が外れると、後は慎重に固定部材を引っ張っていけばボードからシート表皮が外れていきます。



7 シートベルトをボードの隙間を通して抜き出します。



10 9番の生地を引っ張ると、図のようにシート表皮を固定していたフックが外れます。



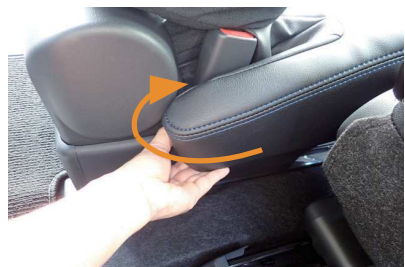
8 バックボードがシートから外れました。シートの背面は図のようになります。この状態からシートカバーの装着を行っていきます。



11 固定を外したシート表皮の端は、この後元に戻すことはありません。シートカバーの内側に入り込む形になります。邪魔にならないように折りたんでプラスチックパーツの内側へ入れ込みます。



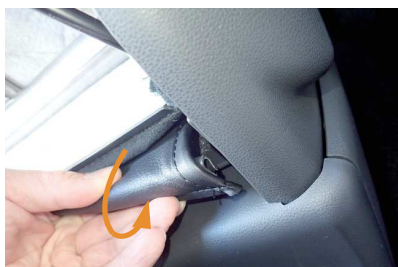
9 シートの背面側です。シートベルトの内側にシート表皮の固定を外す、長方形の生地があります。その生地を掴み引っ張ります。



12 シートの内側からカバーをかぶせます。シートの内側の図の部分はカバーが袋状になっています。シートに引っ掛けるようにしてカバーをかぶせます。



- 13 12番の位置を軸として、シート全体にカバーをかぶせます。



- 16 引き出した生地についているフックを180度折り返します。
10番で外したシート表皮のフックを固定していたプラスチック部にはめ込み、固定します。



- 14 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。



- 17 16番のフックはシート表皮を固定していたフックより大きく、カバーの生地も厚みがあるため、完全にはフックがはまりません。フックの先端を入れ込むように固定して下さい。



- 15 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。
※シートの両端には配線があります。配線部分に注意して作業を行って下さい。



- 18 フックは一旦固定した後、さらにヘラなどで押し込みしっかりと固定して下さい。
※この際、シート背面側のシートベルトに当たらないように固定することが重要になります。



19 フックを固定すると図のようになります。



22 シート外側の軸部分です。こちらのカバーの端にはゴムが付いています。ゴムを図の隙間からシートの裏へ入れ込みます。



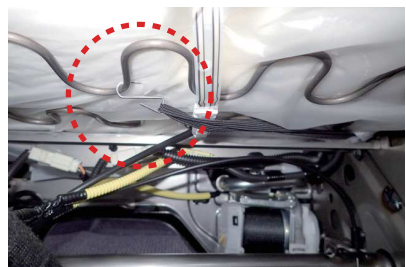
20 シートの外側です。こちらもシートとプラスチックパーツの隙間に端に固定部材の付いた生地を入れ込みます。



23 シートの裏から入れ込んだゴムを引き出します。



21 シートの外側の後ろ側です。こちらもシートとプラスチックパーツの隙間に端に固定部材の付いた生地を入れ込みます。



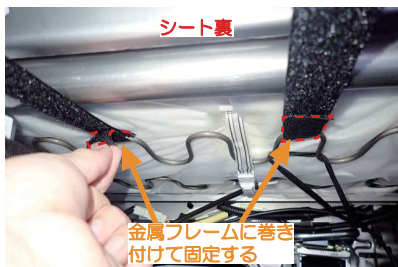
24 引き出したゴムに付属の金属フックを取り付けます。金属フックをシート裏の金属フレームに引っ掛けて固定します。



- 25 シート内側の軸部分です。プラスチックパーツの隙間に端に固定部材の付いた生地を入れ込みます。こちらの隙間は大変狭くなっています。図の上側部分を指で押すと隙間が少し広がり入れやすくなります。



- 26 シート内側の軸部分は図のようになります。



- 28 マジックテープのベルトをシート裏へ入れ込み、金属フレームに巻き付けて固定します。



- 29 カバーのラインを整えて、助手席座面の完成です。



- 27 シート前側のカバーにはマジックテープのベルトが付いています。

Step 4 1列目助手席背もたれの装着方法

※助手席背もたれにシートカバーを装着すると、シートベルトの巻き取りが鈍くなる場合があります。シートカバーを装着後、シートベルトの確認を行う作業を説明していますが、シートカバーを装着する前もシートベルトを引っ張り、シートベルトの巻き取り具合を確認しておくようにして下さい。



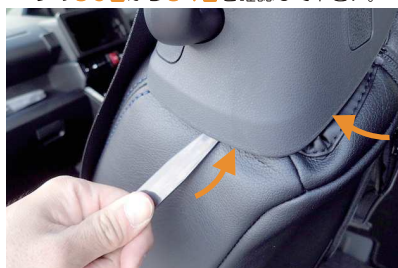
- 1 カバー背面のファスナーを開けた状態にしておきます。シート外側の肩口から出ているシートベルトの内側にカバーを通します。



- 4 3番で入れ込んだ部分を軸として、台座部分にカバーを慎重に通します。台座部分が大きいとかなか生地が通らない場合は、台座部分を外すことができます。その作業を行う場合は25・26ページの30番から34番を確認して下さい。



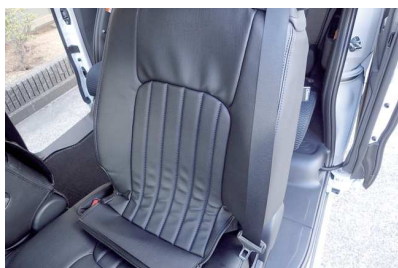
- 2 カバーをゆったりかぶせた状態で、背面のファスナーを半分ほど閉じます。
※カバーをしっかりとかぶせた状態では、ファスナーを閉じることが困難になります。



- 5 台座部分にカバーを通すことができれば、台座のフチにヘラなどを使用して生地を入れ込み、台座周りを整えます。



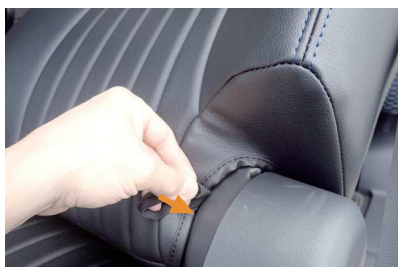
- 3 シートベルトが出ている台座部分を取り出します。まず台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



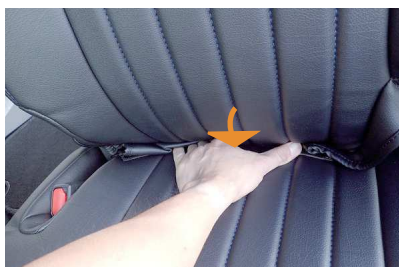
- 6 シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



7 ヘッドレストの台座を取り出します。



10 シート外側の軸部分です。カバーの端にゴムが付いています。ゴムを軸の内側に通してシートの背面側へ入れ込みます。



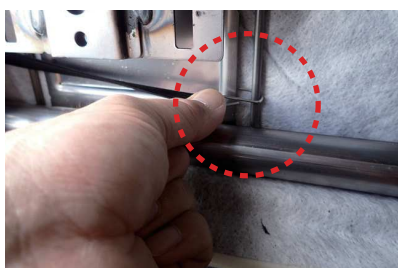
8 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。



11 シートの背面側からゴムを引き出します。



9 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。



12 引き出したゴムに付属の金属フックを取り付けます。フックをシート背面の金属フレームに引っ掛けて固定します。



- 13 半分ほど閉じていたファスナーを全て閉じます。



- 14 カバー側面の生地をシートに馴染ませながら、シート背面で純正シート地を固定しているフックの上から、カバーのフックを引っ掛けて固定します。



- 15 反対側の側面も同様です。純正シート地を固定しているフックの上から、カバーのフックを引っ掛けて固定します。



- 16 シート背面側の下部分です。シートのクッションを図の金属バーの下側に入れ込みます。シートの中央に配線があるので、そこは入れ込むことができません。両端をできる限り入れ込んでおいて下さい。



- 17 バックボードをシートに戻します。17ページ7番のシートベルトを、バックボードの隙間に通しておきます。バックボードの下側を固定する際は、図のような状態から作業を行います。ボードの表面に傷を付けないように注意して下さい。



- 18 9番で引き出した生地を改めてしっかりと引き出します。生地端に付いている槍状の固定部材を、図のように端を折り返して固定部材の先端を手前に向けます。



- 19 固定部材は16ページ6番で外したシート表皮と同じように固定します。固定部材の先端を16ページ4番でヘラなどで隙間を広げていた部分に入れ込みます。



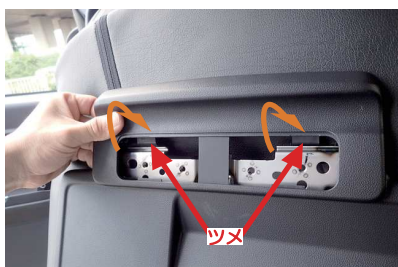
- 20 固定部材の先端が出て来るまで、しっかりと入れ込んで下さい。先端が出てくると『カチッ』と音がする感覚があります。



- 21 固定部材を全て入れ込み生地を固定出来れば、バックボードの表面側は図のようになります。



- 22 シート外側の軸部分です。こちらに、端に何も付いていない生地があります。生地をシートの背面側に引っ張り出します。生地はこの後固定するバックボードで挟み込み固定します。



- 23 バックボードの上側を固定します。16ページ3番で外したツメ2か所を、引っ掛けるようにして固定します。



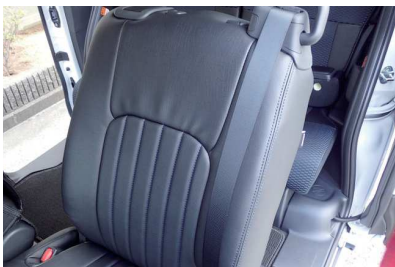
- 24 16ページ2番で外したスライドレバー下側のフックを固定します。フックと受け側の位置を合わせて、ボードを押し込み固定します。
※フックの位置が合っていない状態でボードを押し込むと、フックが変形して固定できなくなります。作業は慎重に行ってください。



- 25 シート肩口のリクライニングレバーのフチに生地を入れ込みます。



- 26 リクライニングレバー部分は図のようになります。



- 27 カバーのラインを整えて、2列目助手席背もたれの完成です。

ここからはシートカバーを装着したことでシートベルトの巻き取りが鈍くなった場合の確認方法を説明します。
シートカバーの装着に問題が無く、28番の確認でシートベルトの作動に問題がない場合は、特に確認して頂く必要はありません。



- 28 シートカバー装着後、図のようにシートベルトを引っ張り、手を放して問題なくシートベルトが巻き取られるか確認して下さい。シートベルトの巻き取りが明らかに鈍いと感じた場合は、29番からの内容を確認して下さい。

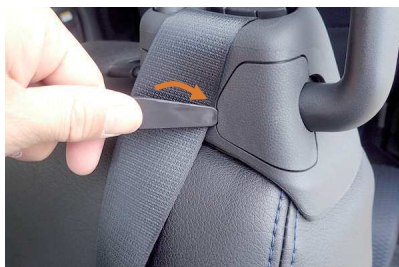


この部分が干渉していないか確認する

- 29 始めにシート背面側のシートベルトが出ている部分を確認します。カバーのフックが純正シート地のフックより大きいため、生地とシートベルトが干渉する場合があります。しっかり固定していれば干渉しない程度の隙間ができるので、こちらで干渉している場合は、18ページ16番～18番のカバーの固定をやり直して下さい。



- 25P ▶ 30 29番の確認でも解消されない場合はシートベルトの台座部分を外して確認します。まずシートベルトの裏側にあるネジを、ドライバを使用して外します。



- 31 次に図のキャップをヘラなどを使用して外します。
キャップは前側と内側にあるので、それぞれ外します。



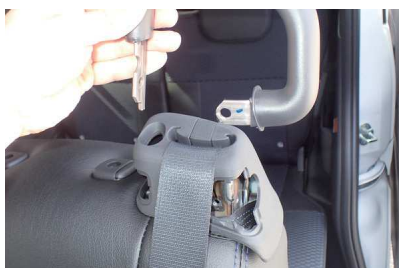
- 34 プラスチックパーツを軽く揺らしながら手前に引くと、図のようにシートから外れます。



- 32 キャップを外すと中にボルトがあります。ボルトをソケットレンチなどを使用して外します。ソケットは10mmを使用します。



- 35 台座の内側が確認できます。この内側で入れ込んだ生地などがシートベルトに直接干渉したり、生地が内部の部品を押し付けて、間接的にシートベルトを抑えたりしていると、シートベルトの巻き取りに影響します。台座の内側に生地を入れ込む以上、ある程度は干渉しますが、明らかにシートベルトの巻き取りに影響が出ている場合は、カバーの装着をやり直して下さい。
※カバーの装着をやり直しても改善されない場合は、直ちにカバーの使用を止めて、弊社へご連絡下さい。



- 33 前側・内側ともボルトを外すと、まずシートを可動させる際に引っ込むアーム部分が図のように外れます。

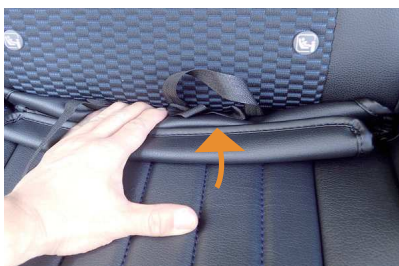
Step 5 …> 2列目座面の装着方法



- 1 シートの内側からカバーを装着していきます。
運転席側・助手席側のシートを前後にずらした状態で、カバーを隙間に入れ込むようにかぶせていきます。



- 2 シート全体にカバーをかぶせて、シートのラインに合わせます。



- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
生地は端にベルトの付いた生地と、生地の裏側に板状の部材が付いた生地の2枚あります。それぞれ入れ込んで下さい。



- 4 入れ込んだ2枚の生地をシートの背面側から引き出します。



- 5 カバーの位置を確認します。
シートの付け根部分です。
カバーの加工穴からチャイルドシート固定用のバーが見えていれば、カバーは正しい位置にあります。バーが見えていない場合はカバーの装着を見直して下さい。



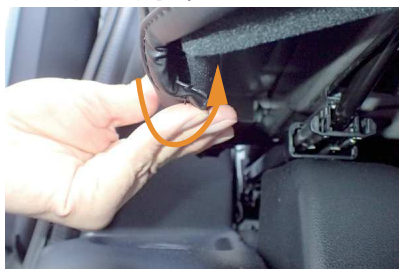
- 6 4番で引き出した生地の端に付いているベルトを、シートの裏から前側へ入れ込みます。



7 シートの前側から入れ込んだベルトを引き出します。



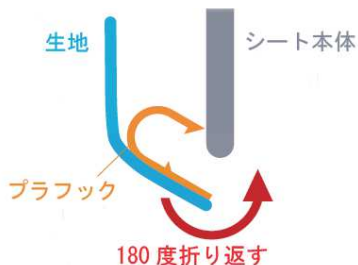
8 ベルトはシート前側のカバーに付いているバックルに通して固定します。
バックルの固定方法は9ページ26番を参考にして下さい。
※ベルトは必ずスライドレバーの上側を通して固定して下さい。



9 シートの外側です。
こちらのカバーには生地裏側に大きめのブラックが付いています。フックをシート本体のフチに引っ掛けて固定します。
詳しくは10番から12番のイラストを確認して下さい。



10 ブラックの固定方法を分かりやすく説明するためにイラストを使って紹介します。



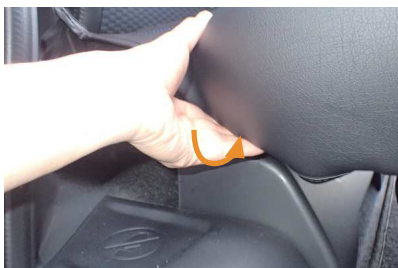
11 ブラックは、生地と共に180度折り返してからシート本体に下から上に引っ掛けるようにします。



12 正しく固定すると、このようになります。



- 13 ブラフックを固定すると図のようになります。
フックはシートのフチにしっかりとめ込まないとすぐに外れてしまいます。フックを引っ掛けて奥まではめ込むように持ち上げて固定して下さい。
また、少々フックの形状が表面の生地に浮かび上がります。こちらは製品の仕様となりますのでご了承下さい。



- 14 シート外側の後ろ側も同様にブラフックを固定します。



- 15 シート外側のプラスチックパーツ部分です。シートとプラスチックパーツの隙間にヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



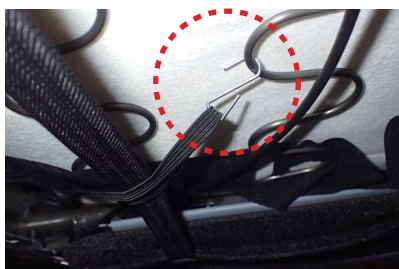
- 16 シート外側の一番後ろ側のカバーには、図のようにゴムが付いています。



- 17 ゴムを生地と一緒にシートの裏へ入れ込みます。



- 18 ゴムをシートの裏から引き出します。



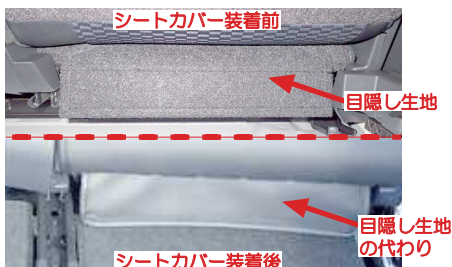
- 19 ゴムに付属の金属フックを取り付けて、シート裏の金属フレームに引っ掛けて固定します。



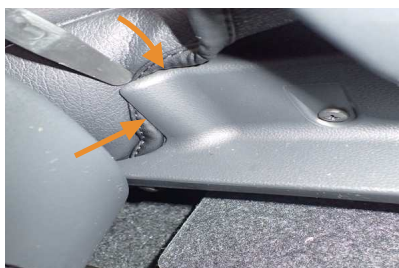
- 22 シート内側の一番後ろ側のカバーには、図のようにゴムが付いています。外側同様ゴムを生地と一緒にシートの裏へ入れ込み固定します。



- 20 シートの内側です。外側同様に前後2箇所あるブラックを固定します。



- 23 シート背面側のシートカバー装着前と装着後の比較図です。
3番で入れ込んだ生地裏に板状の部材が付いた生地は、純正シートにあった、シートの内側を目隠しする為の生地の代わりになります。板状の部材はどこかに固定するわけではありません。生地の形状を保つために付けてあります。



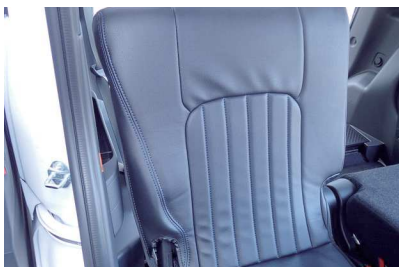
- 21 シート内側のプラスチックパーツ部分です。シートとプラスチックパーツの隙間にヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



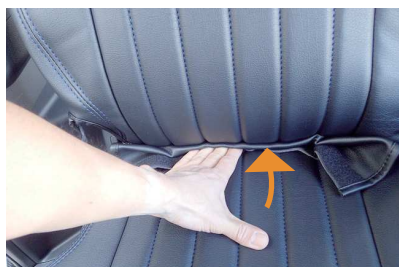
- 24 カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。

Step 6

…> 2列目背もたれの装着方法



- 1 カバー外側面のファスナーを開けておきます。
シートラインに合わせてカバーをかぶせます。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



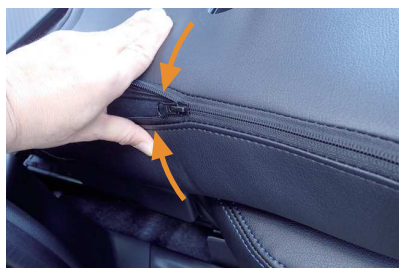
- 2 ヘッドレストの台座を取り出します。



- 5 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。



- 3 シート内側の軸部分です。
生地を引っ掛けるようにして、シート形状に沿わせてカバーをかぶせます。



- 6 カバー外側面のファスナーを、生地を内へ寄せ合いながら慎重に閉じます。
ファスナーの端はカバーの内側へ入れ込みます。



7 5番で引き出した生地と、カバーの背面下の生地をマジックテープで固定します。



10 シート肩口のリクライニングレバー周りの生地を、ヘラなどを使用してフチに入れ込みます。



8 シート背面のスライドレバー周りの生地をヘラなどを使用してフチに入れ込みます。



11 生地を全て入れ込むと、リクライニングレバー周りは図のようになります。



9 生地を全て入れ込むと、スライドレバーの周りは図のようになります。



12 カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

Step 7 …> ヘッドレストの装着方法

1 列目ヘッドレスト



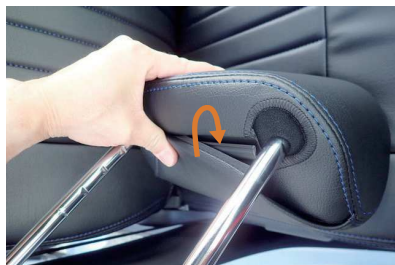
- 1 カバーを図のように裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。ヘッドレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前になります。



- 2 裏返していた部分を左右均等に引き下ろしカバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



- 3 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏の生地を寄せ合いながら、マジックテープを固定します。



- 4 ヘッドレスト裏でブラックを固定します。



- 5 ブラックの固定方法は、かぎ状のプラスチックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



- 6 ヘッドレストの裏側は図のようになります。



- 7 カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。



- 10 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせて、カバーのラインを整えます。

2列目ヘッドレスト



- 8 2列目ヘッドレストは2種類あり、2種類のシートカバーを同梱しています。ファブリックシートはカバーのタグに20HRと印字しているものを、ソフトレザー調シートは20HR中央と印字しているカバーを使用して下さい。

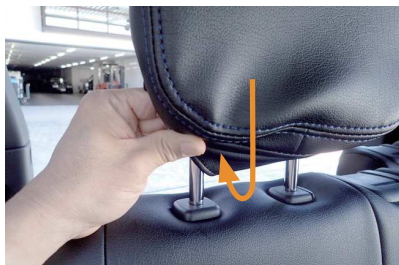
形状は異なりますが、どちらも同様の固定方法でカバーの装着を行います。

ヘッドレストの後ろ側の形状にカバーを沿わせるようにかぶせます。カバーをヘッドレスト全体にかぶせていきます。

カバーはヘッドレストの形状を見て前後を確認して下さい。



- 11 ヘッドレストをシートから外します。1列目ヘッドレスト同様に、マジックテープとブラックでカバーを固定します。ヘッドレストの裏側は図のようになります。



- 9 ヘッドレストの前側にカバーを引っ掛けるようにしてかぶせます。



- 12 カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。

Step 8

…> アームレストの装着方法



- 1 始めにドライバーを使用して、ボックスの底にある2本のネジを外します。ネジを外すとボックスがアームレストから外れます。



- 4 アームレスト後ろ側のファスナーを閉じます。



- 2 カバーの後ろ側のファスナーを開き、図のようにアームレストをカバーに入れ込みます。
※ファスナーは、アームレストを入れる際に負荷が逃げるようにするために開けておきます。



- 5 カバーをアームレストに馴染ませて、ボックスを元に戻します。この時、できるだけ生地を中に入れ込むイメージで作業を行って下さい。



後ろ側上部の角

アームレストの
前側を指で押し
ながらかぶせる

- 3 アームレストの前側にカバーをかぶせます。この時、アームレスト後ろ側上部の角にカバーが引っ掛かっている状態で作業を行います。
※アームレスト前側の角を指で押しながら、カバーの切り込み部分が裂けないように、慎重にカバーをかぶせて下さい。



ボックスをしっかり押さえる

- 6 ボックスを下へ押し込みながら、1番で外したネジを固定します。図では片手になっていますが、軽く押さえるだけではネジが届かない為、少し体重を掛けながらボックスを押し込み、押し込みながらネジを回すイメージで作業を行って下さい。



- 7 カバー両側面の加工穴と、アームレストの固定部分の位置が一致していることを確認し、アームレスト（本体）の完成です。
※穴位置がずれている場合はカバーを調整して下さい。



- 8 アームレストのフタにカバーをかぶせます。始めに、ドライバーを使用してフタをロックするツメを外します。図のネジを2本外すとツメが外れます。



- 9 フタにカバーをかぶせます。表面にマジックテープが付いている方が、フタの上面に来るようにかぶせて下さい。



- 10 端にマジックテープが付いた生地を、フタの軸の間に入れ込みます。隙間は大変狭くなっています。フタの角度を調整して、作業を行って下さい。



- 11 入れ込んだ生地を内側から引き出します。



- 12 引き出した生地についているマジックテープと、カバーの裏側に付いているマジックテープを固定します。



- 13 8番で外したツメの固定位置に印を付けます。
図のようにツメの辺りを指で押さえると、固定位置が生地の表面に浮かび上がります。



- 14 印を付けた部分にハサミなどで穴を開け、ネジ穴部分を取り出します。



- 15 生地を挟み込みながらツメを元通りに固定します。



- 16 アームレストをシートに戻します。

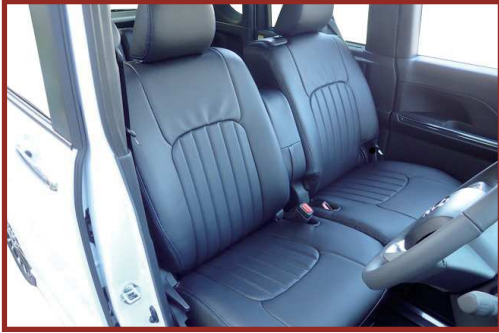


- 17 生地を挟み込みながらキャップを閉じます。

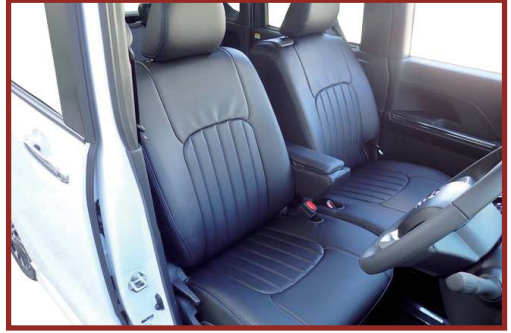


- 18 カバーのラインを整えて、アームレストの完成です。

完成図



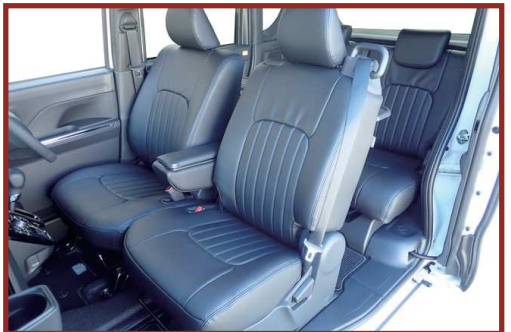
1 列目



1 列目アームレスト使用時



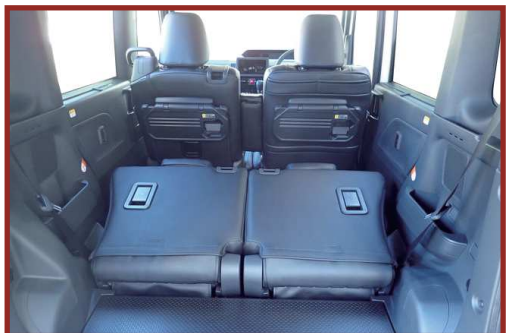
1 列目背面



1 列目助手席側



2 列目



2 列目可倒状態

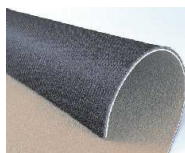


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかりと水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816